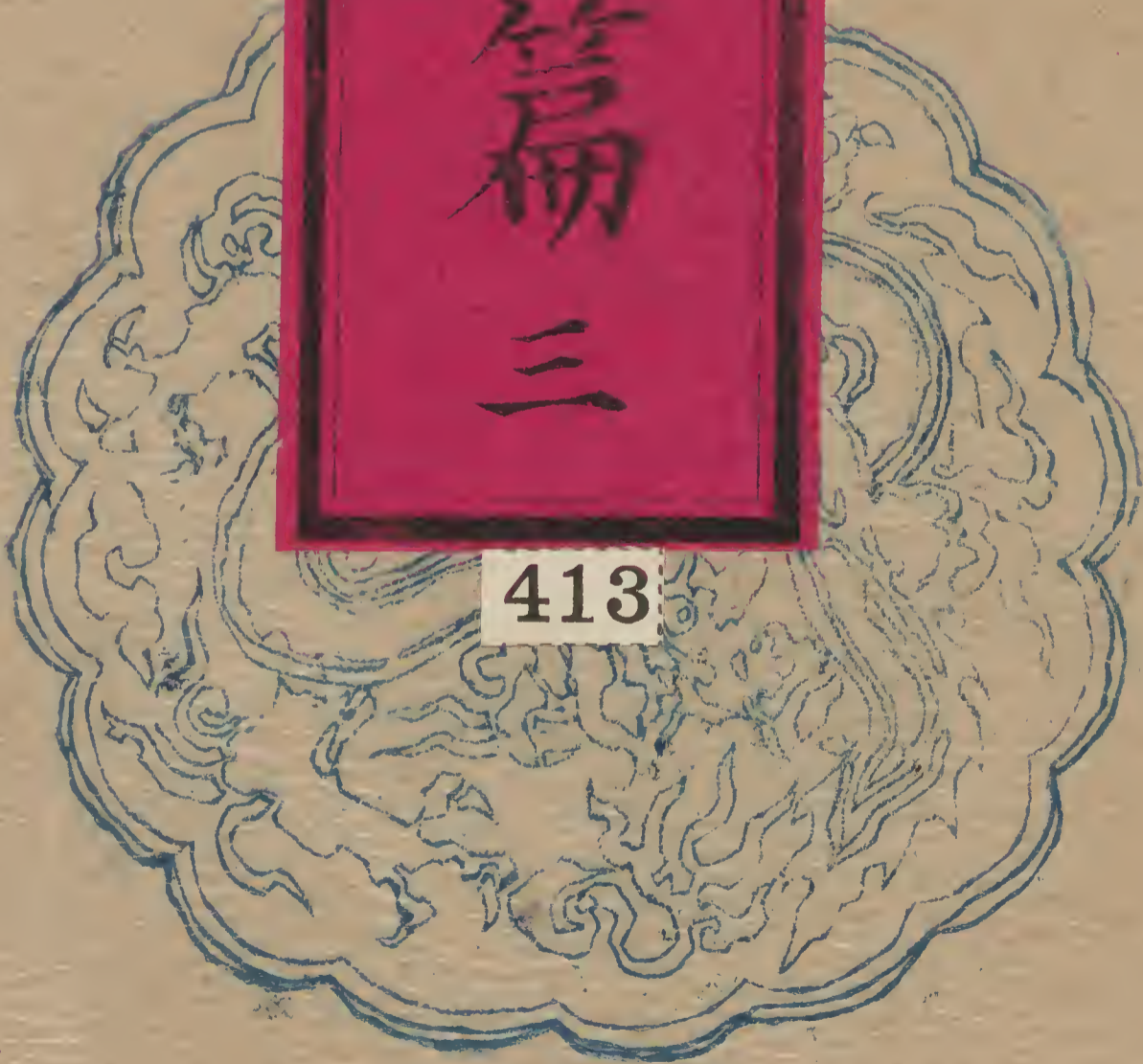


青山
御流

活花手引種前篇三

413



三之卷凡例

○此巻専ら秋冬花種類をもつて次序となし
花状は模様も随て例となし其の新澁のみを記す

○此冊末の系てハたをて得る体はと顯しを記す

さるる圖に除き品種をあらわし元と補ふは花形は是
花と増減の趣意ともなり其の例と推して察考

ありし高其終に於て即興の体と水庭はあやと

ありし夫ら上に床棚附書院卓等其圖と物卷の會人の
略飾と僅に一二具と記す猶委に別子傳意あり

并

かく斜正のくあち形くまて子はりまの
 花とまんまのまにまりして入るし水陰の

まの左のまーはくく組
 妻ハ次とらう



檜扇 ヒアラキ

射干ナリ
 鳥扇 トモ
 鳳翼 トモ
 仙人掌 トモ



おく斜西の席とく陰陽の
 おもむらうとまの専要なり

乙 安ふ死

圓形とて乙安ふ死は根茎がふし
まじく練したるも此なりと云ふ
あつたがくともあつたにまじりて



あつたがくともあつたにまじりて
左の圖とて

あつたがくともあつたにまじりて
葉の長短も同じなり



中つて枝留ハ枝別産の傳方ありと云く
是れ其正に云く云く云く云く云く云く云く

長き大葉ハ除くして小
葉ありてと傳も云く云く



風情
はるかに
次は
云く云く

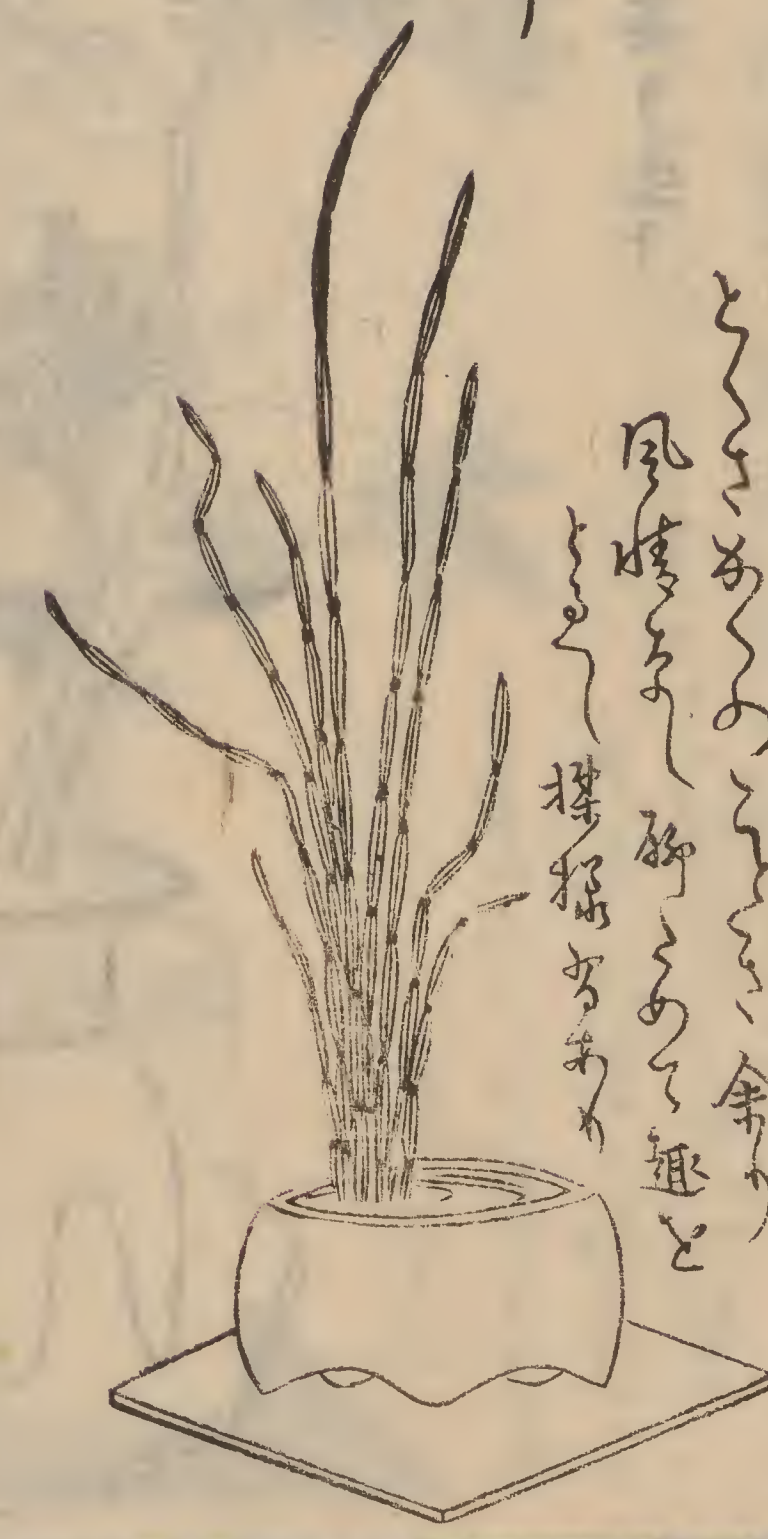
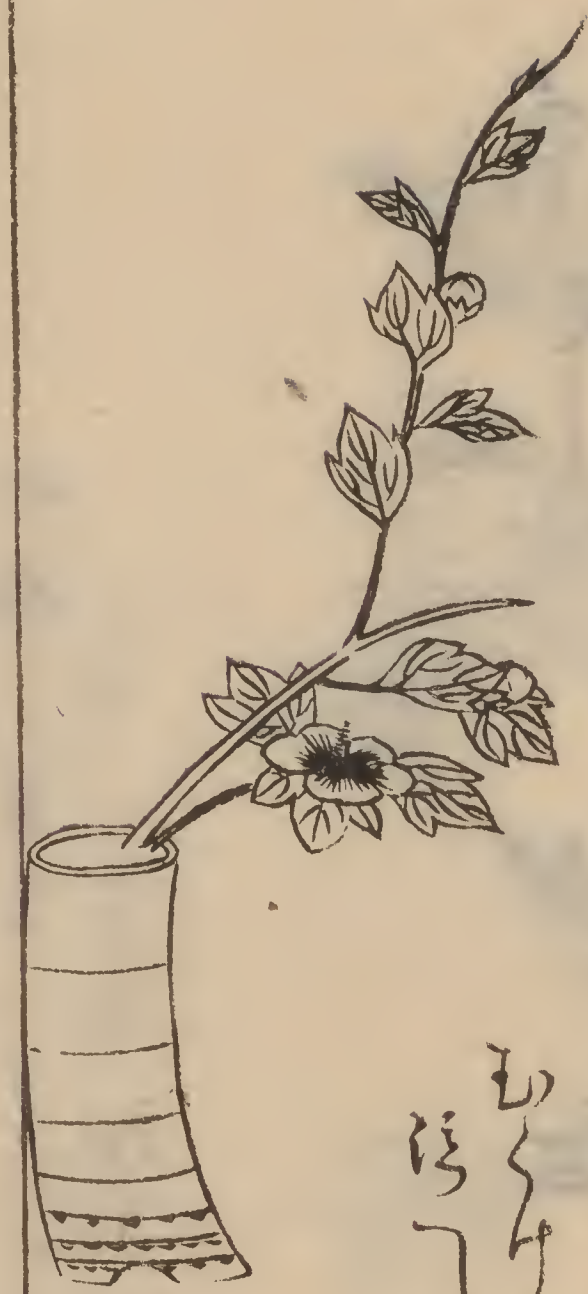
如斯大葉とのをいして小葉の云々と云
と云く云く云く云く云く云く云く



ヤツテ
八手

魚ニ覆ハ毒ヲ生ト

砥草^{トクサ}
木賊ナリ

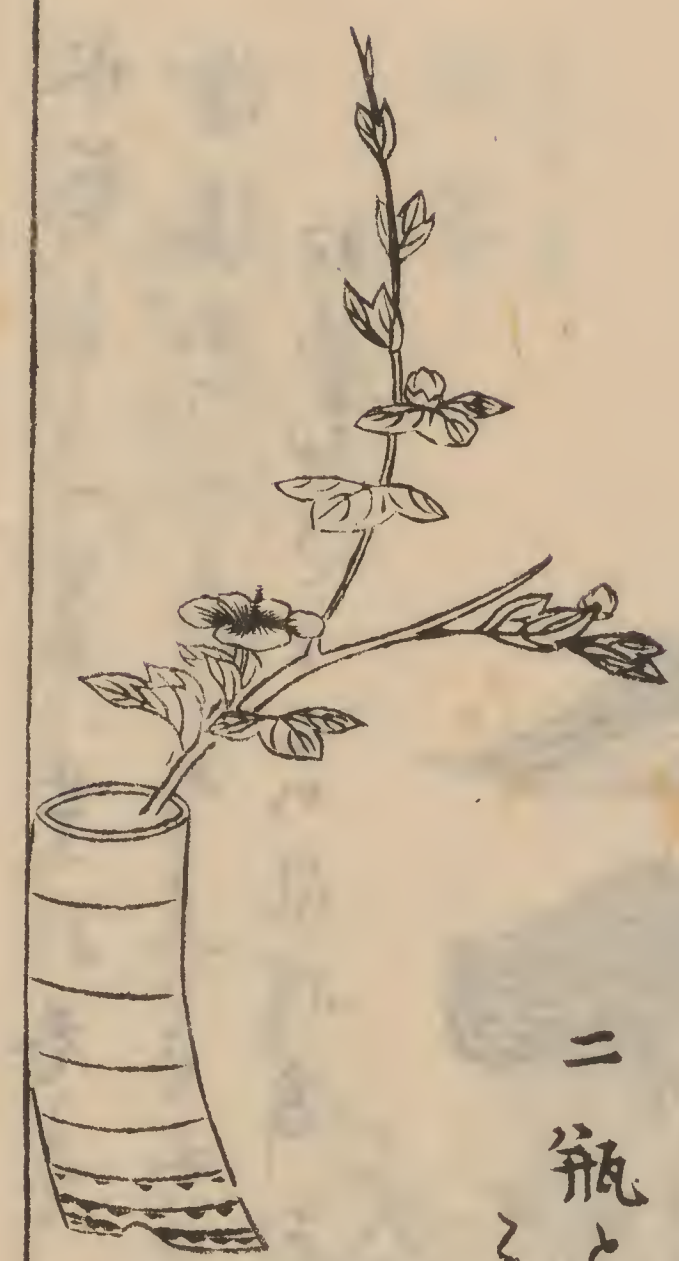


玉くけ指をよほして
浮しゆえり
次とる

とろろのこころ
風情多し
とろろのこころ

葎^{キハナス}

槿花ナリ
藩籬艸ト云



二瓶
とろろのこころ

水葵なる一葉、莖は巻きて
 陰陽がつかまらぬあはれなるあはれなる
 ねえむさよといふ風情、左のこころ
 入るこころ



水葵

浮蓋ナリ
 水葱トモ
 雨久花



あくろしあくろし
 別をほろの巻葉はくろし
 抑てあきい、さうさうて
 半りもまよとまよのくろし
 子体はほろし
 さうさう

せんのみをてしこ石竹の類はるゝに格別を好ま
 水際なるもあく一本つゝまもるゝはきりあく小菊を
 乃て二本も三本もさくあつゝは梅も様々
 せんともつゝきりきり左はるゝ



センノウケ
 仙翁花

前カ秋羅ナリ
 前カ紗荅トモ



あくきんをりつゝ中は
 きりきりおかしき花の形なり

檜松 杜若

三春柳トモ
とよみアツクとも



とよみアツク曲りて風情
松のろくろも杜若のそとありあり
上巧とて下ハききほにありあり
余もすこ回意

右の曲ちる枝もさうアツクききほ
梢をかろくひと枝もさう
とよみアツクとも
むつとてききほ

杜若もあつてほに
ほにほに



かぐらみのなみりくま〜下州とそゆまハ
 かみきりりて風情あ〜是北と〜
 か〜ハまんのをありと〜し 次ノ圖と
 又〜



とみあき
 き〜

女郎花 ヲミナヘシ

敗将 十リ
 女落 芝

かくらむのなみりくま〜とそゆまハ
 かみきりりて風情あ〜是北と〜
 か〜ハまんのをありと〜し 次ノ圖と
 又〜



圖のくさき草は、此草南方一帯に生ずるをなれり
 急し、水たまりに生ずるをくさき草と云ふ。と云ふは、
 かくれ草と云ふと似て、して、蘆花、花をいけて
 生たり出たりをかくし、かくし
 へききし、左の草と云ふ。

ぶ
 水あとし



あくらの草、あかし、
 浮ぶた、あかし、
 根、茎、葉、の、と、通、り、て

アサ

蘆花也 草也
 アマ子クサ



この外、あかし、
 の、花、も、同、き、なり

如斯ハ其神屈曲して様
シ海ノ様なるも友が
ミ好クナリ瓶口ホサ
めんぐりて急シ下ノ瓶の
くもみ先もて石ノ
障アコト海あり次
次と云々



ホト、キスガウ
杜鵑草
山ノ次

如此瓶口と除きてま何程少くも面白く
巧みにいふと下ノ州をめぐらるも
と云々



蔓梅も

大葉那るもれりめく後あまらゆのハるる勢ひ忌し
 友芝ふふあてたなりとも平にましくましく物なりあふ
 ちりハあらしをむとらうてるのみし路のえんるるもれり
 尚左の圖とて



秋海棠 シウカイトウ

断腸花 トモ
 瓔珞草

めく水邊のあまらゆ
 器の口と杉ほりぎの様もきう
 茎も一方ハ秋海棠の性どふく
 打ちあびけて入るは介葉のちひなる
 めれちりづれも同きなる





ハキ
萩
天竺艸也
鹿鳴草
上E
芳宜艸

舟形とも一たありとも
おもひてありとも一方
たむけ水際をらるる
物中に入る此外山あり
小舟の形は巻木同様に
形ありとも趣同意あり



わく雙方に亂れ魔を
さるる忌とあり約やに
一方にありなれども
おもひてありとも一方
たむけ水際をらるる
物中に入る此外山あり
小舟の形は巻木同様に
形ありとも趣同意あり

梅ウメ嫌エトフ
梅ウメ賽トモ字シ不フ祥シヤウ

かく大てい子遣る但梅をさ
おとそ悉くともがれい妻もさしはれる
かてありの穢りおろし



かく大輪をさるるさうり秋の情薄し
下はえさりと除る一方とほけ菊をさる
かへりてさるる次の妻もさるる



枇^ヒ
杷^ワ

小菊



上下と丸にありけり
入るしと外ありは木箱
と外ありと外ありと丸にありけり

水除け
水除け
水除け
水除け
水除け
水除け
水除け
水除け
水除け
水除け



小菊
小菊
小菊
小菊
小菊
小菊
小菊
小菊
小菊
小菊

水除け
水除け
水除け
水除け
水除け
水除け
水除け
水除け
水除け
水除け

水仙



水仙草の志は清く高きものなりけり
あつたうらけくもくよつとくもたきよ
意 蒼古余りうらけくみくゆふじの趣と
くちふの固く

水仙

金盞銀臺花ト云

黄玉花

ト云

五葉花



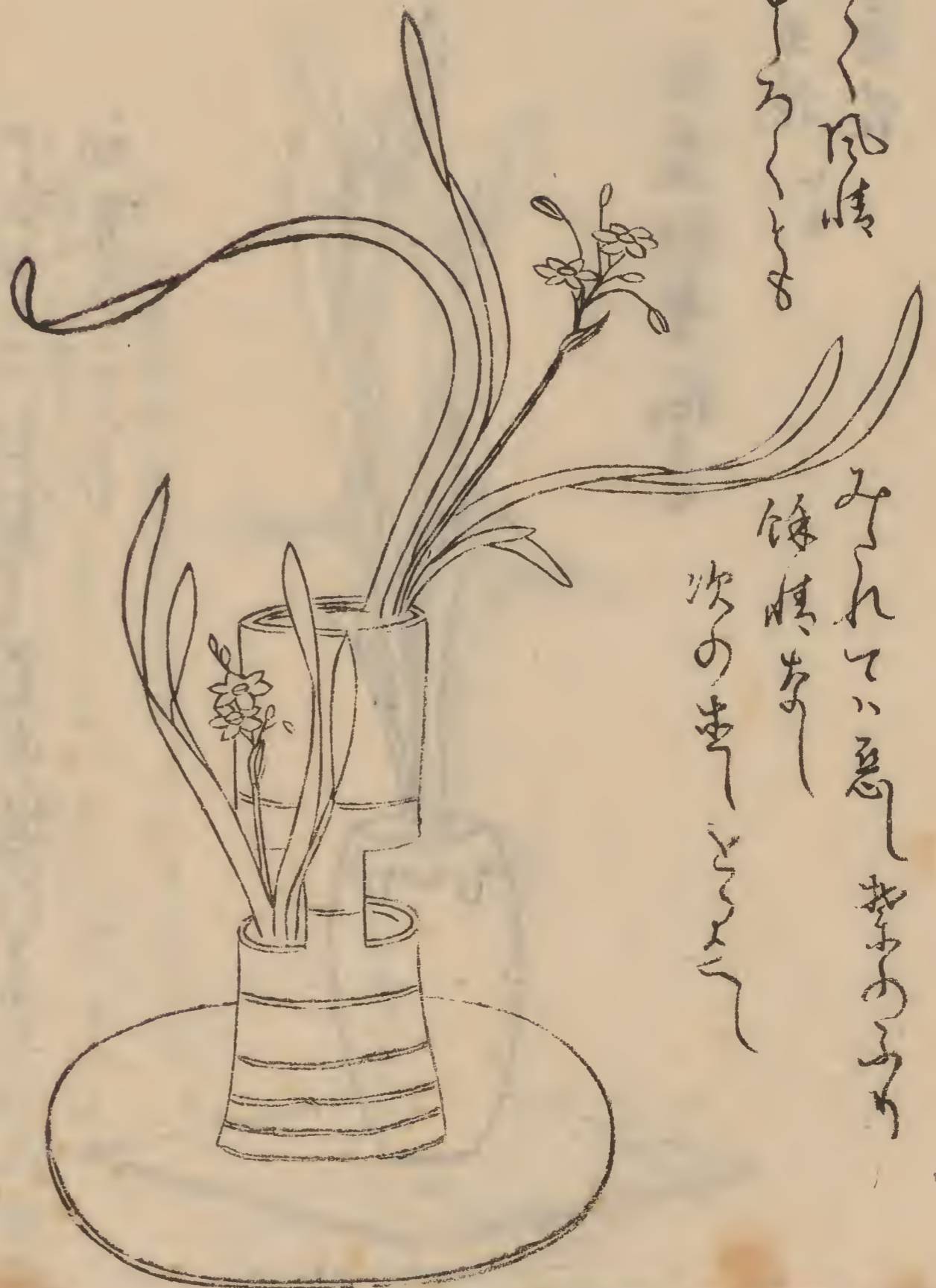
あつたうらけくもくよつとくもたきよ
ゆふじの趣とくちふの固く
初巻子くち

水仙花
仙骨トモ



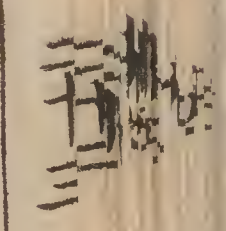
あつちまや、好むと
よしと、解浮き
あり

あつちまや、好むと
何程好むと、よしと



みられて、急し、あつちまや
餘情あり
次の巻、と、よしと

川の柳を挿花に用ひたりゆき梅と
 きりあうとて約中にきりぬしおの流る枝とせし
 枝とあうあう小菊とのて挿し次とてなり



イノコヤナキ
 狗柳

河揚
 蒲柳氏
 承子柳氏

圖にみえし水際の大枝と
 してあうとて約中にきりぬしおの流る枝とせし
 枝とあうあう小菊とのて挿し次とてなり



柳

二七四

ちんてん
水仙



此南天一株ハふる枝ハふも
梢をかりたり元ひくさくさる枝
おちがめ薄し低き枝をとり根の曲りをねがひて
とんもほへふし梢の實もさく多さるり二つあり
跡し余を去るべし水仙も紫曲る却てり年一次にさる

水仙

水仙の葉白
如斯ひくさくさる水仙の葉も
一方とせよ一方の葉もさる

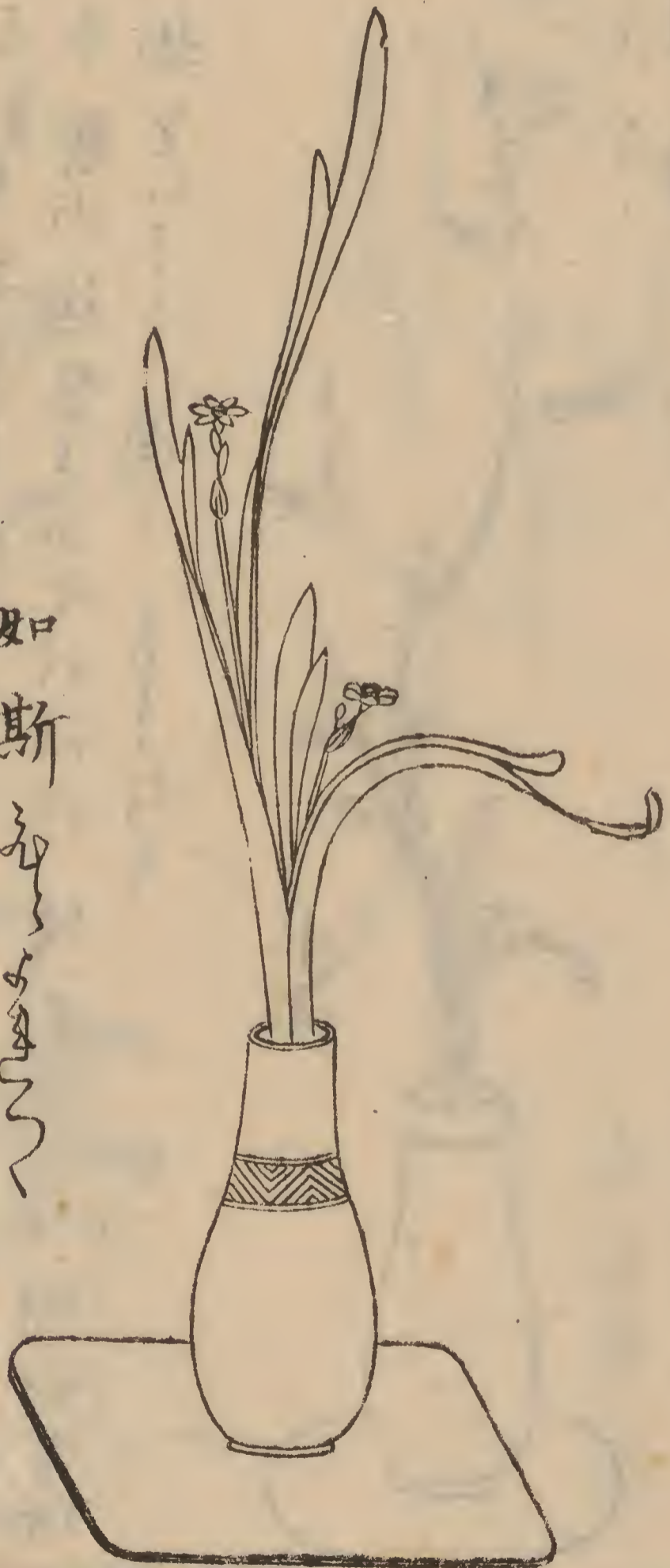


南天燭
南天竹
蘭天竹トモ
凡八名有

辨

二十

水僊 スイセン



如斯

曲ありて

水仙の葉曲あるものはたゞしくなく
こゝろありて結しつれば花もよきなり
よきよき一浮の園とて



此蠟梅より山下ハきく車一得きる辨而已と圖一頭也
 ゆくまの四季の順をいへばきく花形の大小を随て二瓶
 子三瓶も寄せて風情をとり合はるるも花のりき浮
 子昂興の趣をたのむは花の採繪并らひ糊附書院
 花趣といふこと圓一をきくなり

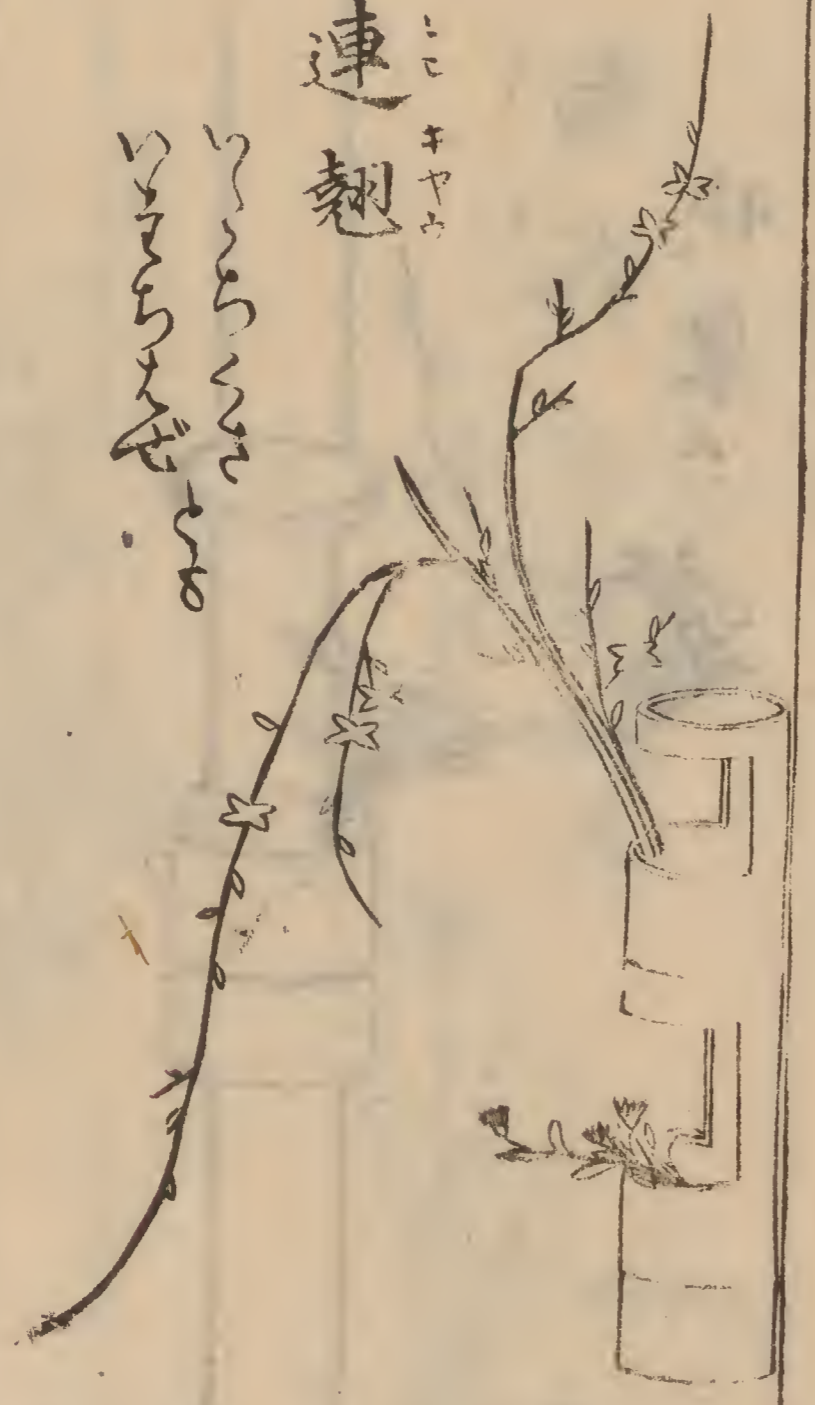
蠟梅
 寒梅
 蘭梅
 黄梅



水仙

連翹

いんげん草



いんげん草
 別名真の恋

陸莢

接骨木



蒲公莢

あはたし
 つばき草

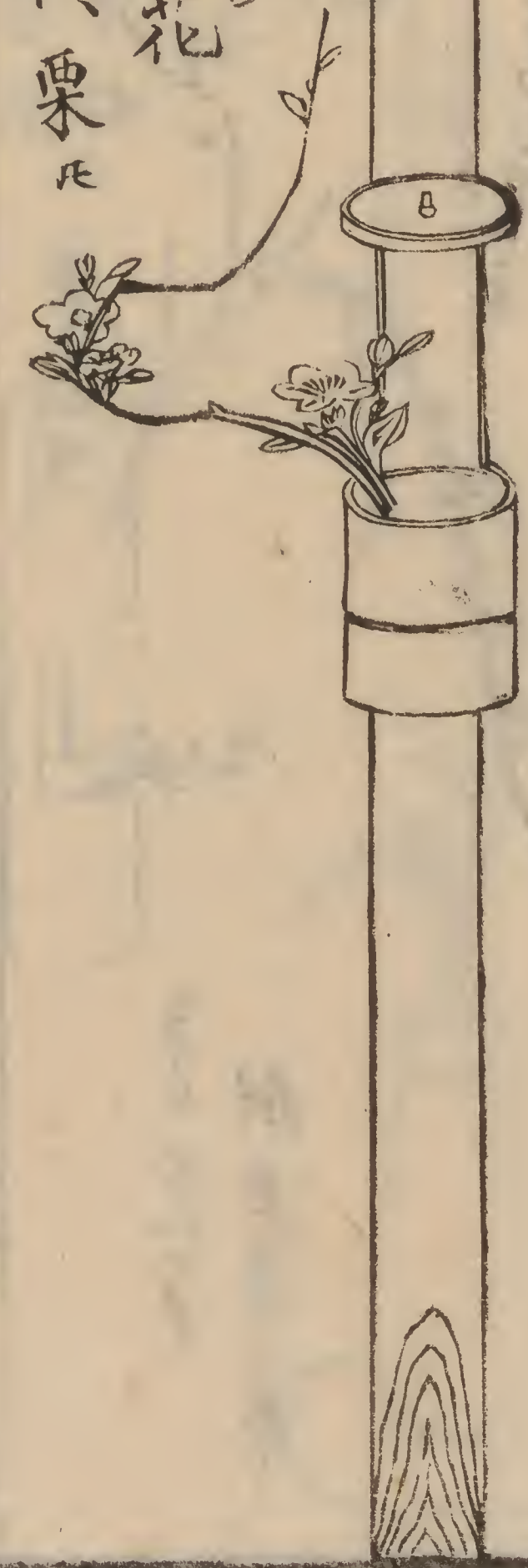
大手
繡毬花
雪毬花



安
紫羅襪花
溪蓀



梨
快栗



櫻
草



夏椿 ナツツバキ

沙羅雙叉樹

聖固樹

撫子 ナアシユ

とこ方つも

瞿麥 洛陽花

石竹

南天竺草



方つむ久

刺花

中ゆい草

藤天蓼



雞頭花

雞冠花



つハ山ゆき

素吾杜衡



美容柳

金絲桃



長春花

日季荃

薔薇ノ類

雞頭花

素吾杜衡

長春花

薔薇ノ類



鳥兜 毒草ナリ
鳥頭ナリ 雙鸞菊也



海老根草
他偷草ナリ

鈴根草也

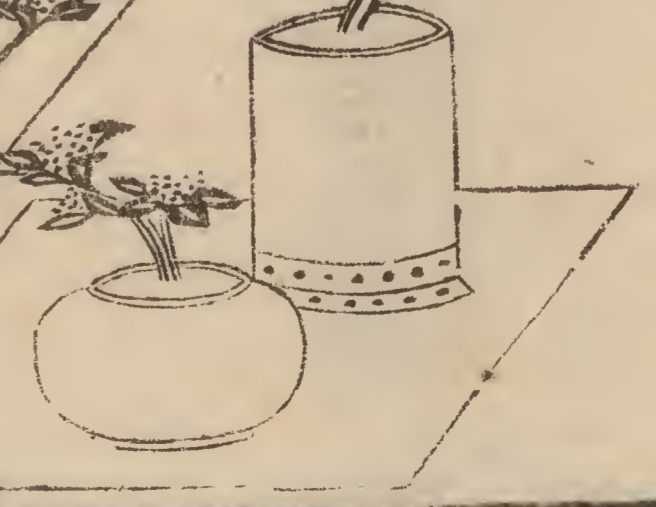
山菜 蔓
さくさくみよ



猿猴 杉
エニカフ スキ



仙 薺
珊瑚ナリ



新

新

鴨跖草也

碧蟬花



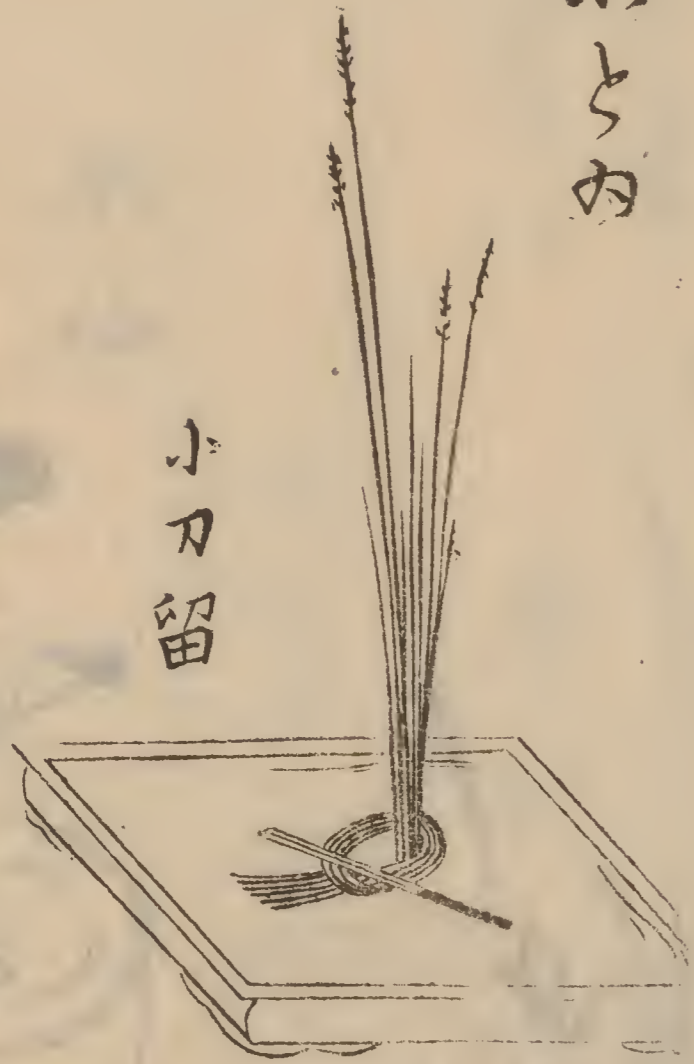
水引草

海根ナリ

ふと内

かく平瓶に汁杯小をくし出末加き時ハあといとりの何れも茎葉のやう
うき物圓のうきくは法以小柄并片末ホチ外足結ハ根と入り入是
又木州甘不若子あかき物下此圓の如く根と三つも四つも割一再く根とを
一尾一尾是末の仕方ハ時の依きあて
坐無之は作香の年さといはせし
法外ねかにくま杯杯と菊口ぬり
平作ホ不入も有可も女子
呪事と
解心もの
無の

小刀留



壓留

玉由香次

玖瑰花也

薔薇ノ一種ナリ



岡河骨

鎖留



岡のやぐ根と云ふは
いづくもまじいむきく
しなす物と云ふ

解と云ふは
しなす物と云ふ

しなす物と云ふ
しなす物と云ふ

牡若

蟹留



白及草

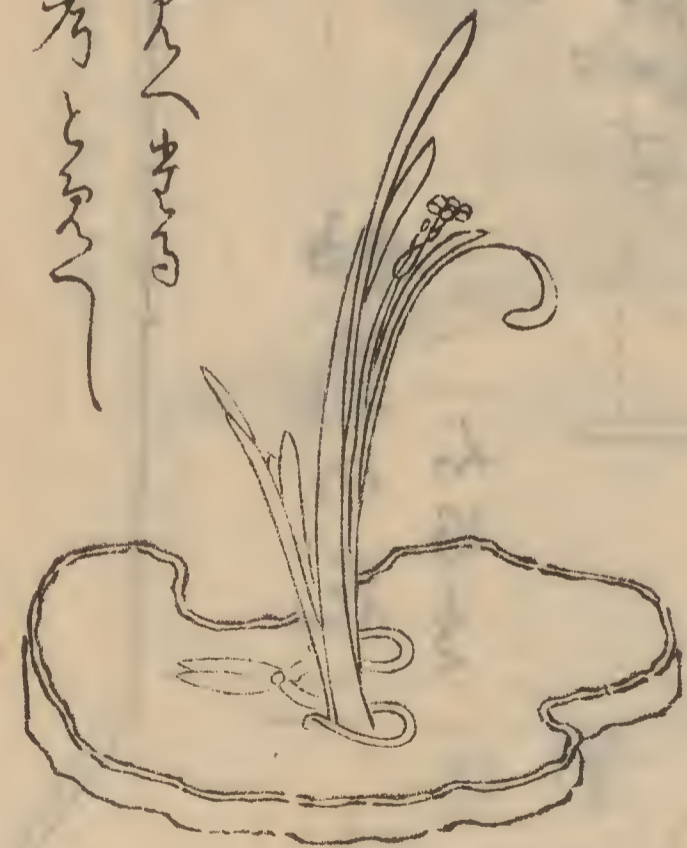
連及トモ

水仙



砂利と云ふは小砂利
と云ふくもりてま根
と云ふは
石と云ふは
中石と云ふは
と云ふは

鉢留
と云ふは





芭蕉 ハシヤウ

甘蕉 カンキョウ

倍うとんけさ

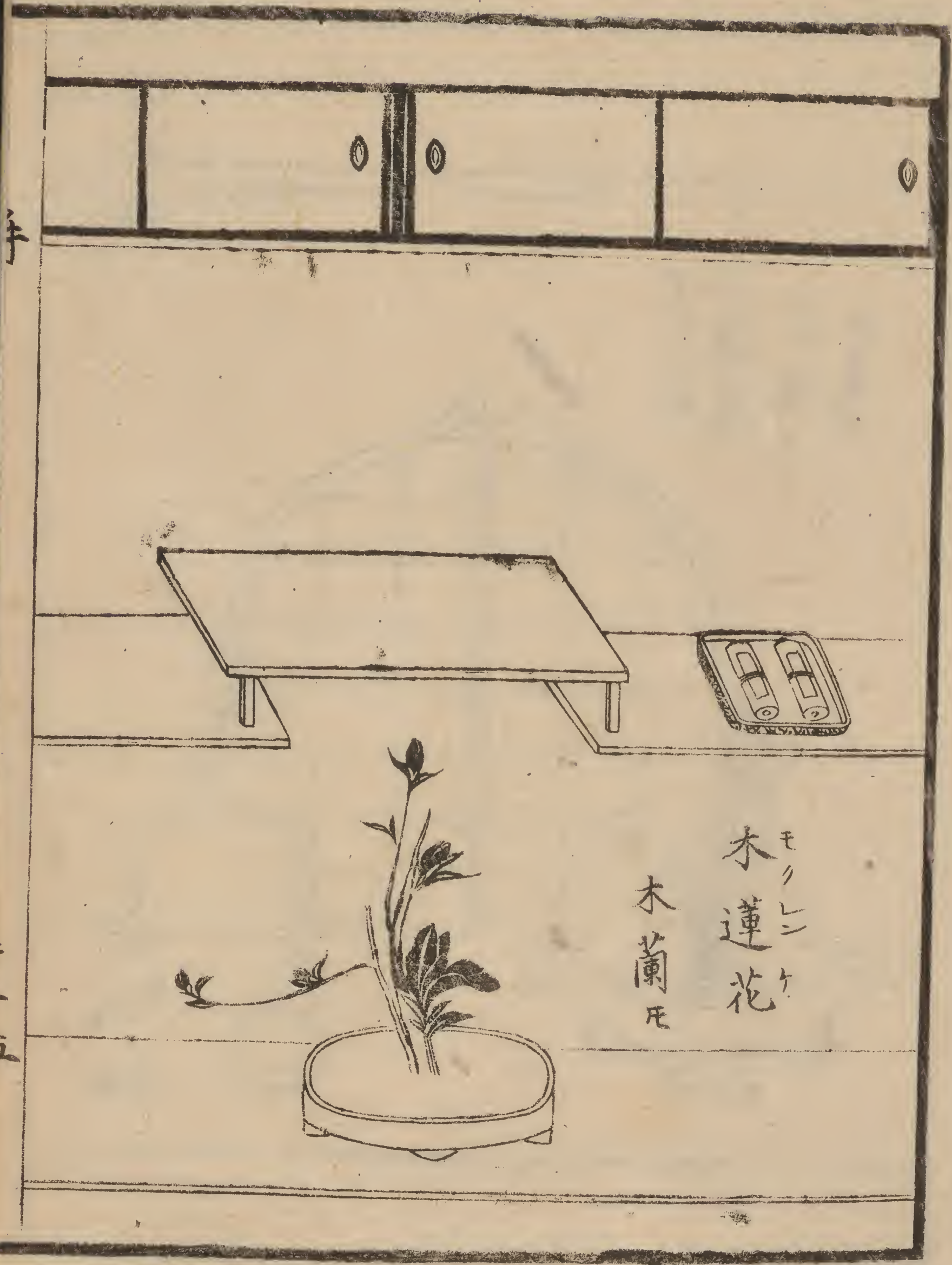
繪前の
花形
心得有

菊 キク

あきくさ
あきくさ
あきくさ
あきくさ



軸前の花
心得有



モクレン
木蓮花
木蘭花

手

二
十
五



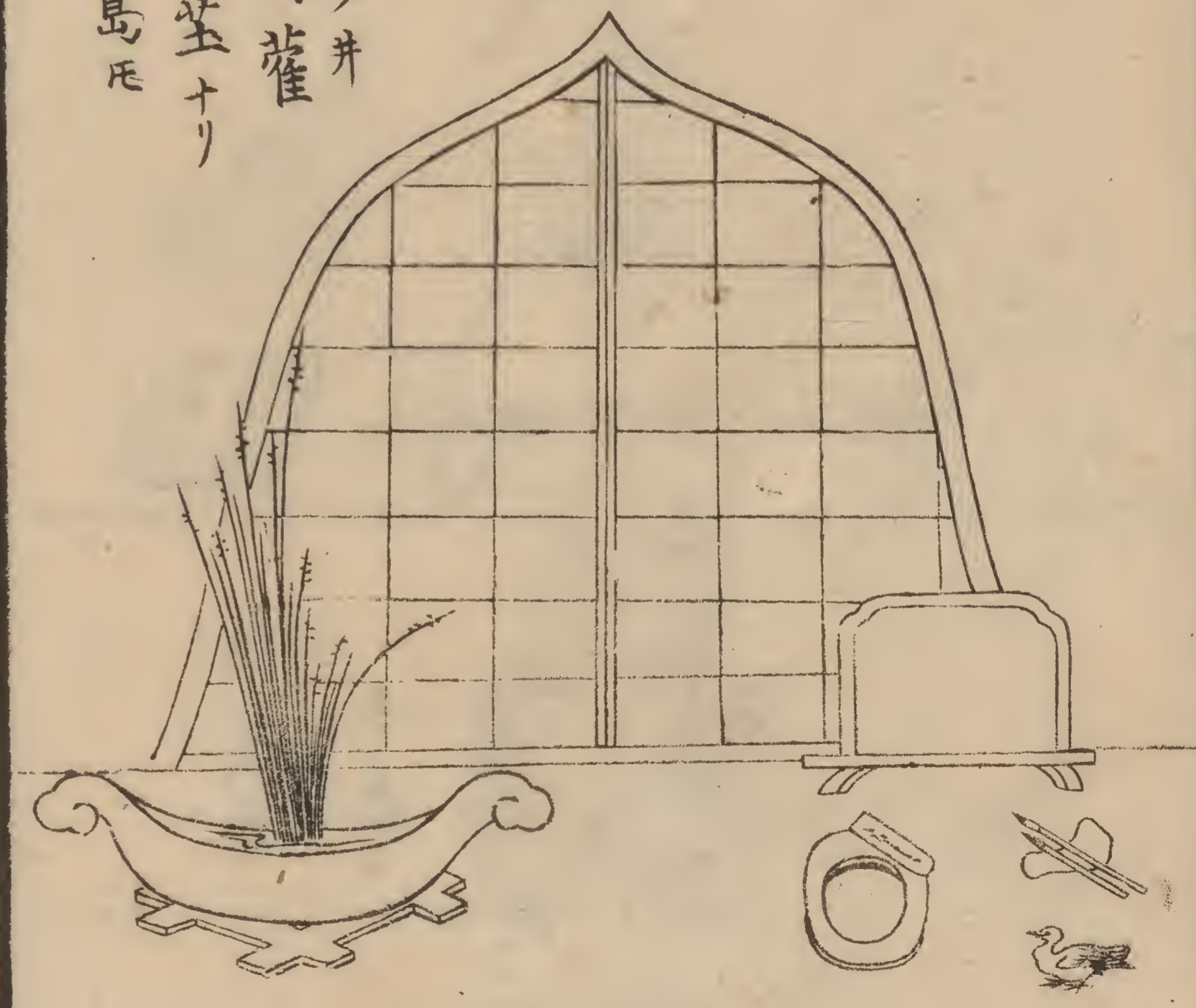
卓下花
心得有

カウマサウ
紅黄草
藤菊トモ

半
十
五

三
十
五

七島氏
北江坐ナリ
三角藿
カク井



林

林

